

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI 会長 田中 作次
2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



第2835回 例会報告

2012年8月3日

点鐘・握手

君が代斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ロータリーの要領の紹介、四つのテスト唱和

ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト 魚津工業高等学校 教頭 櫻野 克也 様
2年 橋爪 峻 様
2年 草 拓也 様

ビジター 金沢みなとRC 寺島 悟様

誕生祝

8月5日 金山夫人

妻の55回目の誕生日を祝っていただきありがとうございます。視覚障害者のボランティアをやっています。祝いの品を持って帰るとボランティア魂に火がつくのではないかと考えています。活発な女性です。暑さに負けず2人で頑張っていきたい。

8月8日 谷口君

去年の8月に入会しました。22年前に入会していましたが、毎週金曜日に会合に出ているのは、人生の目標を達成出来ないということで22年間休会していました。1938年生まれで8月8日で74歳になります。7日は立秋です。仕事は小さな経営ですが、健康で、毎日仕事をしていることはありがたいと思っています。

8月13日 大城夫人

入会させていただいて30年。妻の誕生日には同じことを言わせていただきます。妻は道産子で夏は天敵、猛暑が続くと動けません。どうしたものかと昨日、涼を求めて映画館に連れて行きました。下界から隔離された世界で、入った時は、ヒヤッとして心地よかったです。多くの子供やファミリーで冷気も溶けていきました。映画の内容は秀逸で穏やかなハッピーエンドでした。束の間の涼しさを味わいました。

ビジター挨拶

金沢みなとRCの寺島です。みなとRCは金沢市内にある8RC中、7番目に設立されました。入会して12年。中堅くらいに所属します。会員は54名います。野澤会長とのインターアクトの打ち合わせでお邪魔させてもらっています。2年間、地区のインターアクトの世話をしています。和やかな例会に出席させていただき、役に立つことを学んでいきたいと思っています。

会長挨拶

3名の誕生者がおられました。私は木を使っていますが、まごころのこもった気を使うことが大事だと思いました。

朝、6時30分ころ、車を運転していたら、会社の上の方でラジオ体操をしていた。子供が1人、じいちゃん・ばあちゃんが15人だった。もう少し走ると、小学生が3~4人、母親3人、ばあちゃん3人でした。この後、ラジオ体操がどうなるのか考えさせられた。

ロータリーも7月で1/12終わりました。何もしないで終わるのかと感じているので、ロータリーのことを話させていただく。本年度のRIの目標として「奉仕を通じて平和を」が謳ってある。奉仕には5つあるが、第五の新世代奉仕は、それぞれのロータリーにあった活動が展開されている。

5つの奉仕の中で基本は「クラブ奉仕」でないかと思う。会員を増やし活発に活動する会員委員会、仲間意識を強める出席委員会、日ごろの活動をロータリアン同志、地域にもPRする広報委員会、得意の分野で大いに活躍してもらおう親睦委員会もある。いろんな活動に参加し身に付けるロータリー情報委員会、気持ちを込めて出すニコボックス委員会、年間48回の予定で飽きのない変化ある活動を組むプログラム委員会の7つのクラブがクラブ奉仕の中にある。クラブ奉仕の活動をやり、その上で、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕で活躍していただけたらと思う。

8～9月に各委員会を開催し、活発な魚津RCの活動を展開していただきたい。職業奉仕以下については、他の機会に話させていただきたい。

幹事報告

- ・ガバナー事務所より GSE報告書、ウェブサイトリニュアルのご案内、「世界平和フォーラム広島」のご案内
- ・魚津市より 第52回魚津市美術展の後援依頼
- ・8月例会案内 前回と同一に付き 略
- ・8月SAA補助 前回と同一に付き 略
- ・例会後 理事会開催
- ・相撲のチケットについて 野澤会長
32枚購入依頼があり、会長と川島さんが回り、18枚売れた。20枚以上売りたいのでご協力ください。

出席報告 小浜出席委員長

本日の出席者 32名 出席率86.48% 欠席者 5名
メイクアップ済み 愛宕さん 清水さん
2833回のメイクアップ なし
2833回の修正出席率 78.37% →78.37%

ニコボックスの報告 辻英晴ニコボックス委員長

- ・吉森さん→体調を崩し、休ませていただいております。欠席お詫びです。

委員会報告

親睦委員会 中田委員長

9月16日、早朝例会の後、恒例のゴルフ大会を開催します。3組予約を取ってあるので奮ってご参加ください。

広報委員会 小浜委員 「ロータリーの友8月号」の内容紹介

1ページにはRI会長メッセージ「心に残るロータリー経験」が載っています。8月は会員増強および拡大月間であるが、体験を話して拡大するとよい。それぞれロータリー・モメントを1分ないし3分でスピーチするとよいと書いてあります。

37ページからのRI指定記事「ロータリーの基本知識」は新会員にぜひ読んでほしいとの趣旨で写真付きで読みやすく、そのあと日本編もあるので見られたら良いと思います。

55ページの管理委員長の思い「ロータリアン全員が一丸となって目標達成を」には寄付を募る思いが載っています。

縦書き2ページからは、被災地、福島県飯館村菅野村長の、今後はスローライフを提唱したいとの思いが綴ってあります。

本日の卓話

平成23年度(第35回) インターアクト協議会に参加して

魚津工業高等学校 生徒会執行部 2年 機械科 橋爪 峻 さん
魚津工業高等学校 生徒会執行部 2年 電気科 草 拓也 さん

今回のインターアクト協議会は、石川県珠洲市飯田高等学校で行われました。校門前では、飯田高校の先生や生徒に出迎えてもらいました。この学校は今年で百周年となる伝統のある学校です。普通科、総合学科

があり全校総計 529 名です。

講義室で協議会が行われました。開会式では開会点鐘、ホスト校会長挨拶があり、スポンサークラブ会長挨拶、ホスト校校長の言葉をいただきました。今回のインターアクトに参加した学校は富山県立高岡商業高等学校、石川県立金沢商業高等学校、富山県立魚津工業高等学校、鵬学園高等学校、小松市立高等学校、加賀中央 IAC、金沢高等学校、藤花学園尾山台高等学校、小松大谷高等学校、石川県立寺井高等学校、最後にホスト校石川県立飯田高等学校の総勢 11 校、生徒 42 名でした。RC は高岡西ロータリークラブ、能美ロータリークラブ、魚津ロータリークラブ、小松シティーロータリークラブ、砺波ロータリークラブ、金沢みなとロータリークラブ、金沢東ロータリークラブ、七尾ロータリークラブ、珠洲ロータリークラブから 14 名が参加して協議会が行われました。

次の講話では、よしが浦温泉ランプの宿社長である刀祢秀一さんの話を聞きました。テーマは「今が成功か、失敗かの分かれ道」です。講話から ・自分の目標は、早いうちに設定することが大切。・実効的スピードとヒューマンネットワークがバランスよくつりあうことが重要。・危機感の先取りが大切。・スピードとタイミングが重要。などを学びました。



講話の後、会場を出て珠洲市の観光名所のランプの宿と禄剛崎灯台を見学に行きました。

最初にランプの宿に行き、ランプの宿の全体を見られる空中展望台を見学しました。この後、ランプの宿の中を見学しました。一番高くてい

い宿泊施設は「波の湯」でした。ランプの宿の前にはプールがありました。ランプの宿の中にはランプの宿という名前だけあって、ランプがたくさんあり幻想的でした。宿の目の前には海が広がり、私も一度は泊まってみたいと思いました。最後にランプの宿の社長さんに、一つお土産をもらうサプライズがあり大変驚きました。その後は、刀祢秀一さんの言葉で解散となりました。



次に、禄剛崎灯台に行きました。禄剛崎灯台は能登半島の最北端に位置する灯台です。一見して背が低く見えますが、向こう側は断崖絶壁です。海面から 48m の高さから発する光は、35 km 先まで届き、日本の灯台 50 選に入っています。古くから日本海航路の要所として重要視されていたため、隔絶された地の割には集落が発展しました。特に一帯は海難事故が多かったため、航路を照らすのろしが古くから上げられていた場所でした。現在の珠洲という地名は、すすみ、古訓でのろしのことを言いそれにちなむともいわれるほどで、狼煙町、狼煙港、狼煙海岸などの地名が残っています。この狼煙は 1883 年(明治 16 年)に白亜の石造灯台である禄剛崎灯台が建設されるまで活躍していたらしいです。禄剛崎灯台は、最北端に位置し、さらに日本列島の中心ということで観光地になっています。また、能登半島の外浦と内浦の双方にまたがるため、朝日と夕日が同じ場所で見られることでも知られています。これで、見学が終わり解散となりました。

今回のインターアクト協議会に私は初めて参加させていただいたのですが、どんなことをするのか少しの不安と期待でいっぱいでした。実際に参加してみると、石川県や富山県から多くのロータリークラブの方々が来ておられたので緊張しました。しかし、刀祢秀一さんの講話に夢中になり、緊張はすぐに解けました。その講話の中で特にヒューマンネットワークを意識しようと思います。何故なら、私はバドミントン部の部長という立場から、生徒や先生、OB の方々とうまく付きあっていかななくてはならないので、今回の講話はとても興味深く、自分にとって有益な話でした。

これらのことを、来年本校が主催するインターアクト協議会の参考にして、参加していただく方々に楽しんでいただけるよう盛り上げていきたいと思っています。来年本校が主催するインターアクト協議会は平成 25 年 6 月 15 日に新川文化ホールで行われます。

次に、本校の紹介をします。

まず初めに、本校は新川地区唯一の工業高校で、卒業生約 10,000 名は新川地区の産業を支える中堅技術者として活躍しています。ものづくりを中心とした工業に関する基礎、基本的な内容を学習しています。平成 18 年度より、電子機械科と化学工業科の募集が停止となり、情報環境科が新設され、機械科、電気科、情報環境科の 3 つの科となり、生徒数が年々減少していきました。しかし、平成 22 年度より 1 学年は機械科が 2 クラスに増え、電気科、情報環境科の 3 つの科、4 クラスの募集となり、制服もブレザーに一新し、

時代の変化に適応しながら活気あふれる学校として、地域とのつながりを密にしながら教育活動を行っています。

本校では放課後や休業中に様々なボランティア活動をしています。活動は一年間を通して行います。6月、10月は、生徒会、生活委員、交通委員による通学路、経田駅の清掃活動。7月は児童センターバスハイキング、8月は24時間テレビの募金活動、3才親子ふれあい村事業、インターアクト年次大会があります。11月はかもめ児童センターとの交流、ものづくり教室。12月は魚津ディサービスセンターとの交流、歳末助け合い募金活動を行います。2月、3月は、いかわ総合支援学校、経田っ子まつり、経田保育園との交流があります。一年間でこれだけのことを行っています。更に情報環境科の科学工業コースでは海岸のゴミの量も調査しながらゴミ回収分別活動を実施しています。



本校の取り組みを紹介しましたが、活動している生徒が一部に偏り、一般生徒はまだボランティア活動の意識が低いなどの問題点がありますが、今後は、多くの生徒や教職員にも自然に親切運動やボランティア活動が広まり、社会への関心やつながりが深まり、地域社会と一体となった活動ができればいいと思います。

あとがき

ゲスト、ビジターが参加されていたにもかかわらず、初歩的なミスで、顔写真を掲載できず、お詫びいたします。

ゲストから、発表原稿とパワーポイント資料を頂き写真を載せることができました。感謝あるのみです。

砺波市美術館で開催中の「木下晋展 祈りの心」の「合掌図」のように思わず合掌しました。

